

輝けロータリアン、ささやけ歴史の真実

～あなたの笑顔が見たいから～



行田ロータリークラブ

国際ロータリー第2570地区 第5グループ

2023-24RI 会長:ゴードン R.マッキナリー ガバナー:高丹秀篤 会長:坂本研一/幹事:小池俊輔
例会日:木曜日午後 12:30 会場:ガーデンパレス 編集・発行:IT、公共イメージ向上委員会 委員長:小松和弘

第24回(第2723回) 2024年 1月第3例会 1月25日(木)

[卓話例会]

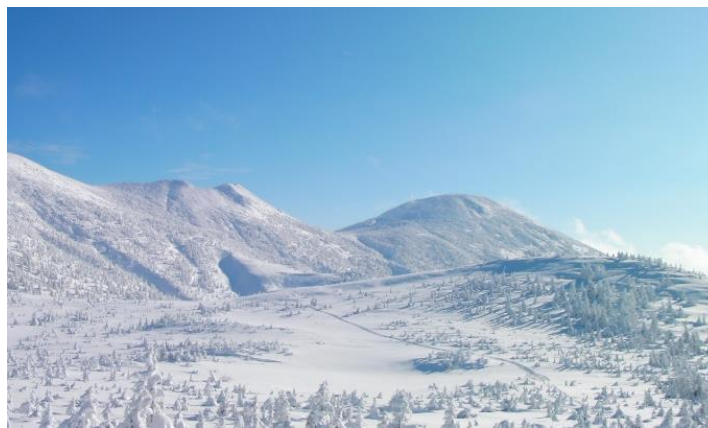
太陽グループ自動車教習所 代表取締役社長 小林群司 様

- 点鐘 / 坂本研一 会長
- ロータリーソング/四つのテスト 唱和
- 会長の時間 / 坂本研一 会長
- 幹事報告 / 小池俊輔 幹事
- 委員会報告 / 岡田 記念講演会実行委員長

- 卓話者紹介 / 斎藤浩二 ビジネスの潮流委員長
 - 卓話
 - 謝辞
 - 出席状況・ニコニコ・ドネーション報告
 - 点鐘 / 坂本研一 会長
- 司会進行:小川忠喜 会員

○点 鐘

会長挨拶 / 坂本研一 会長



1月25日にはどんな出来事があったか

- ① 日本最低気温 No.1 旭川 1902年1月25日 -41℃
日本最低気温 No.2 帯広 1902年1月26日 -38.2℃

- ② 八甲田雪中行軍遭難事件、行軍日程 1902年1月23日～24日
後藤伍長発見し、遭難を確認 1月27日(5日目)のこと

1902年(明治35年)1月23日に日本陸軍第8師団の歩兵第5連隊が青森市街を出発、八甲田山の田代新湯に向かう雪中行軍の途中で遭難した事件。訓練への参加者210名中199名が死亡(うち6名は救出後死亡)するという日本の冬季軍事訓練において最も多くの死傷者を出した事故であるとともに、近代の登山史における世界最大級の山岳遭難事故である。

日本陸軍は1894年(明治27年)の日清戦争で冬季寒冷地での苦戦を強いられた経験を踏まえ、さらなる厳寒地での戦いとなる対ロシア戦に向けた準備をしていた。日本陸軍にとって冬季訓練は喫緊の課題であった。対ロシア戦は10年後の1904年(明治37年)に日露戦争として現実のものとなる。

雪中行軍は青森歩兵第5連隊210名が1902年1月23日から、

弘前歩兵第31連隊37名と新聞記者1名が1月20日から2月1日までそれぞれ異なる経路を行軍した。

青森歩兵第5連隊は、冬のロシア軍の侵攻で青森の海岸沿いの列車が不通となった場合、物資の運搬を人力ソリで代替可能か調査することが主な目的であった。対象となった経路は「青森 - 田代 - 三本木 - 八戸」間で、最大の難所である青森 - 田代温泉間の雪中行軍演習は片道約20km、1月23日より1泊2日の予定で計画された^[1]。行軍経路は田代街道、現在の青森県道40号青森田代十和田線である。

弘前歩兵第31連隊の計画は「雪中行軍に関する服装、行軍方法等」の全般に亘る研究の最終段階に当たるもので、3年がかりで実施してきた演習の総決算であった。経路は「弘前 - 十和田湖 - 三本木 - 田代 - 青森 - 浪岡 - 弘前」間で総延長224km。日程は1月20日より11泊12日の予定であった^[2]。



救援隊による捜索と後藤伍長発見

救援隊は捜索活動を再開した。田代まで行き、行軍隊と接触しようと、尻込みする案内人を説得して出発した。午前10時半頃、三神少尉率いる小隊が大滝平付近で雪中にたたずむ後藤房之助伍長を発見。後藤はこの時のことを「其距離等も詳かに知る能はず、所謂夢中に前進中救護隊の為に救助せられたるものなり」^[27]と述べている。ここで雪中行軍隊の遭難が判明した。

弘前ルートで入山した弘前歩兵第31連隊38名も、激しい風雪に悩まされたが、ほぼ全行程で案内人を立てたおかげで見事に踏破を果たした。



映画「八甲田山」を見て八甲田登山を計画。21日目に登頂する。

東北 34 日間

1977 年 7 月 24 日

東京両国発

目的・八甲田登山

- ② 浅虫温泉
 - ③ 恐山
 - ④ 大間岬
 - ⑤ 五所川原
 - ⑥ 津軽半島
 - ⑦ 十二湖
 - ⑧ 酒田
 - ⑨ 象潟
 - ⑩ 新潟
 - ⑪ 佐渡真野
 - ⑫ 佐渡二つ亀
 - ⑬ 佐渡両津
 - ⑭ 新潟
- 8 月 26 日 行田



34 日間歩行距離 350km

【 1977 年八甲田山登山の為の個人的東北旅行日程、21 日目に八甲田に登る 】

山



1906 年建立



山から降りると、偶然にもこの銅像の下、「おじいちゃんはこんな寒さではなかったんだよ！」と叱るお婆さんがいた。1977 年 8 月 13 日午後 2 時過ぎのことである。後藤房之介四肢切断後結婚。倅後藤信一(109 歳)インパール生き残る。2023 年 5 月逝去。後藤公佐(87 歳)100 周忌開催 2023 年 6 月

【 盲亀の浮木 】

洋上スクール太平洋上で聞いた境野勝悟氏の詞
人が生まれて来る奇跡とは、100年に一度海面に浮上する目の見えない亀が、
そこに漂って来た浮木の穴に偶然顔を出すほどの確立
後藤公佐さんはそんな奇跡を肌で感じ、
自分が生きている事に感謝する人生だったのではないのでしょうか

奥の細道序文

月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。
舟の上に生涯を浮かべ、馬の口とらへて老を迎ふる者は、日々旅にして、旅をすみかとする。
古人も多く旅に死せるあり。
予も、いづれの年よりか、片雲の風にさそはれて、漂泊の思ひやまず、海浜にさすらへ、去年の秋、江上の破屋に蜘蛛の古巣をはらひて、やゝ年も暮れ、春立てる霞の空に、白河の関越えんと、そぞろ神の物につきて心を狂はせ、道祖神の招きにあひて取るもの手につかず、もも引の破をつづり、笠の緒付けかへて、三里に灸据うるより、松島の月まづ心にかかりて、住める方は人に譲り、杉風が別荘に移る。

人生とは 旅路の空の 詩集め



旅の空 言の葉ひろう 枯れ野道

幹事報告



能登半島地震被災者への支援金募金ですが、皆様から多くの募金を頂戴いたしまして本日迄で¥510,500の支援金が集まりました。

そのうちの¥500につきましては埼玉りそな銀行の社員の方が募金に協力して下さっています。集まった支援金は29日に国際ロータリー第2570地区の能登半島地震支援金口座にすべて振込をさせていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。

次回例会について、2月1日(木)の例会はガーデンパレス熊谷にて12:30から開催いたします。また、理事の皆様は11:00から理事会を開催いたしますのでよろしくお願い致します。

2月8日(木)は定款第6条第1節により休会となります。2月12日(月)は熊谷スポーツホテルで第5グループのインターシティーミーティングです。ご参加下さる方はよろしくお願いいたします。

感謝状

ポールハリス・フェローの寄付に対しまして小林群司会員に感謝状とバッジが届いています。



委員会報告



岡田 公開講演会実行委員長

卓話者紹介



斎藤浩二 ビジネスの潮流委員長

卓話



太陽グループ自動車教習所 代表取締役社長 小林群司 様
自動運転の進展と運転教習について卓話をいただきました。



謝辞



坂本会長



大石 ドネーション・出席委員長

出席状況報告
正会員数 57 名
出席規定免除者 2 名
55 名中 32 名出席
出席率 58%
ニコニコ報告
14,000 円
ドネーションボックス
5,000 円

《ニコニコ報告》

- 坂本研一会長 / 小林群司会員 本日は卓話 よろしくお願ひします。
- 富田会員 / 小林群司会員 本日はありがとうございます。
- 小林群司会員 / 本日はよろしくお願ひします。
- 大野会員 / 皆様「翔んで埼玉」パート2 はご覧になりましたか？ 弊社施工の行田タワー(古代ハス展望室)が映画のストーリーの中で大活躍します。是非ご覧いただけたら幸いです。

《ドネーションボックス》

坂本研一会長、斎藤浩二会員、小林一好会員

《本日の司会進行》



小川忠喜 会員